

市政 News

緑化フェア開幕し 中心市街地にぎわう

都市緑化フェアの開幕に合わせ、3月29日からサテライト会場の中心市街地でもさまざまなイベントが行われました。一地区一自慢の表彰式や苗木の無料配布のほか、ファッションショーや広瀬川イルミネーションなども行われ会場に彩りを添えました。



幻想的な広瀬川イルミネーション



人形浄瑠璃も披露



多くの人でにぎわったファッションショー



一地区一自慢大賞を受賞する西大室町自治会



苗木を受け取り笑顔も



前橋文学館では絵手紙展を開催中



人々の出会い触れ合いが好きです



喫茶店を開いて23年
笛木 廸子さん・70歳
朝日町三丁目

黒い木を基調とした外観。2階のドアを開けるとコーヒーの香りがいっぱいに広がる。この喫茶店を1人で切り盛りして23年。店内はボックス席やカウンター席が並び、ギャラリイも併設している。

「1階で本屋をしていたのですが、その時にお客さんから、「この辺りに喫茶店はありませんか」と、たびたび聞かれることがあったんです。また、喫茶店を始めることが夫の若いころからの夢だったんです」

最高の豆を使用する。コーヒーのメニューはブレンド一筋。味と香りはどこにも負けない。

「お客さんがふらっと入れて、ほっと一息することができるようなくつろげる場所を提供したいんです」

客の注文を受けてから豆をひき、

400ほどあるカップの中からその人の雰囲気や季節に合わせて選び、心を込めてコーヒーを注ぐ。

「店を訪れる人はさまざま。人生もさまざまですね。お互いにうれしいことや悲しいことなどの話をします。お客さんとの交流が大好きなんです」

おいしいコーヒーを注ぐことと、客との触れ合いを大切にすることが生きがいである。

「趣味は油絵を描いたり、俳句を詠むことです。これからは銀のアクセサリーのデザインもしてみたいですね」と、いろいろなことに挑戦する向上心を持ち続けている。

いつまでも元気で明るく、おいしいコーヒーを注ぎ、客との触れ合いを続けてほしい。

若い芽のポエム

昨年度行われた第11回「詩のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。

◆銀賞 ほたる

滝窪小金丸分校1年
林 優花さん

くもりのよるだったよ。
おしりがひかっていたよ。
はなびみたいにとんでたよ。
とんでいるところが、
きれいだったよ。
ほしのあかちゃんみたいだね。
ほたるにあえてうれしかったな。

なのは何度もぬかされる
苦しさと
つかれがきても歩かずに
心連れてゴールイン

◆銅賞 前橋市民マラソン

高崎市立国府小5年
長谷川 浩輝さん

タッタッタ
ドカンとピストル みちびいて
ぼくは三キロ 走り出す
タカタカタカと
気をぬかないで 走り続ける

走りぬけたら
急につかれが
グワングワンと ぼくをおそった
ぼくはよるよる 少し歩いて
しばふの上に 体をなげた
ぼくの心は トクトクトクと
体の中で走っていた

弟が
ぼくと二分差
だと聞いて
ぼくの心ぞう くやしげに
トコトコトコと
こまたで速く
歩いていて